

和道建号外
令和6年4月30日
(2024年)

和歌山市都市建設局
道路河川部 道路建設課長

質問回答書

令和6年4月23日付けで質問のあったことについて、次のとおり回答します。

年 度	令和6年度
工事(業務)番号	第24000001号
工事(業務)名	岡崎130号線橋梁下部工事
工事(業務)場所	和歌山市朝日地内
質問事項	回答事項
<ul style="list-style-type: none">・道路橋示方書では、「砂層、砂れき層はN値が30程度あれば支持層と考えてよい。ただし、砂れき層ではれきをたたいてN値が過大に出る傾向があるので、支持層の決定には十分な注意が必要である。」とあります。当現場で支持層と判断している砂礫層ですが、N値が35、24、16となっており大変低く、道路橋示方書の支持層の条件を満たしていないと思いますが、この層を支持層と考えてもよろしいでしょうか？・支持層のN値が35、24、16と大変低いので、杭施工時の掘削電流抵抗値からこの層が支持層と判断できないと考えておりますが、掘削電流抵抗値から支持層と判断できない場合でも杭深度による深さ管理で施工を進めてもよろしいでしょうか？	<ul style="list-style-type: none">・N値が概ね30前後であり、直下に軟岩層が分布していることから、当該砂礫層を支持層と考えて問題ないと判断しております。・掘削抵抗から支持層到達の確認が困難な場合は、地質調査結果に基づく掘削深度管理により施工を進めることになると考えていますが、実際の確認方法については、施工時の状況を踏まえ、受注者との協議とさせていただきます。

・支持層下の岩盤地盤は掘削及び拡大根固め球根の築造が困難と判断しております。KING工法（中堀鋼管杭工法）の拡大根固め球根長さは2D（1,600mm）あります。また、支持地盤への杭の根入れは、通常1D（800mm）以上とされております。想定されている支持層である砂礫層が2,400mm未満の場合、KING工法の規定上の拡大根固め球根の築造長さが確保できないため、施工した杭の支持力の保証が出来ませんがよろしいでしょうか？

・支持層直下の軟岩層の支持力を考慮できるため、杭の支持力に問題はないと考えております。